

子どもお仕事参観日 VOL.8 有限会社石孫本店



「子どもお仕事参観日」とは、パパ・ママが普段どんな職場で働いているか子どもたちが見学する日。子どもと職場の人たちが交流することで、それぞれに大事な家族がいるんだ、お互いに助け合っていこう、と職場のみなさんに再認識してもらう特別な1日です。子どもたちが張り切って訪問。パパ・ママが働く姿を、しっかり見てきました！

今回おじゃました会社は・・・



有限会社石孫本店

(湯沢市)

▽HPはこちら▽

<http://ishimago.main.jp/>

手造り天然醸造味噌及び醤油の醸造・販売を行う会社です。

参加してくれたのは・・・

- 1人のパパのお子さん1人、
- 2人のママのお子さん3人です。
- 陽向(ひなた)さん(小5)
- 朝葵(あさき)さん(小4)
- 賢志(けんじ)くん(5才)
- 綾乃(あやの)ちゃん(5才)



歴史ある蔵に子どもたちの明るい声が響きます

お味噌が熟成する芳醇な香りがあたり一面に漂う、石孫本店の蔵。安政2年創業で159年もの歴史があり、文部科学省指定の登録有形文化財(建造物)としても登録されています。職人さんが昔ながらの手法で味噌・醤油を造っている趣ある暗い蔵の中に、子どもたちの明るい声が響きました。



大きな桶に、長〜い棒！

早速みんなは醤油の醸造蔵へ。醤油造りの作業のひとつ、諸味桶の「權(かい)つき」をお手伝いしました。長い竹の棒で大きな桶を下から混ぜ合わせる作業ですが、これがけっこう難しい！醤油は重く、秋田杉でつくられた桶は、深さ2メートル以上！子どもたちは「パパがやっているなら僕もがんばる」と、力いっぱい棒を握りしめます。できるようになるまで何度も挑戦する子も。大きな桶の中をかき混ぜるには、長年の技術が必要なんですね。



味噌のパック詰めや醤油瓶のシール貼りをお手伝い

次は、味噌のパック詰めに挑戦です。職人さんから空気が入らないよう、ぎゅっぎゅっと押しながらしずつ味噌を詰めていく見本を見せてもらいながら作業しました。お味噌を詰めているとついたくさん入れたくなりますが、そんな気持ちをぐっところえて蓋をします。パックにシールを貼って完成。出来上がりに満足げな子どもたちです。

最後に、醤油瓶のシール貼り作業もしました。「イシマゴしょうゆ」「あま塩」「商品名シール」の3種類のシールを貼るので、バランスが難しい。ぺたぺた手際良く貼る高橋さんに教えてもらい、何度も直しながら作業を進めました。



ありがとうの言葉も自然にでてくるよ

いつもパパママたちがどんな仕事をしているのかを楽しく学んだ子どもたち。自然と「がんばって」「ありがとう」の言葉がでできます。ちょっと照れる様子を見せながらも「また来たいな」という声も。職場の人たちとのふれあいも楽しかったようですよ♪



子どもお仕事参観日を終えて・・・

🌻 子どもたち&パパ・ママから 🌻

[子ども]

◎陽向くん

醤油をかき混ぜるのはとっても難しかった。

◎朝葵ちゃん

ママはいつもああやって仕事をしてるんだな—と思いました。味噌を詰めるのが楽しかった！また来たいな。

[パパ・ママ]

◎恵美子ママ

特殊な仕事なので、いつか見せてあげたいとは思っていました。蔵の中まで入ったのは今日が初めてです。仕事は簡単なことじゃないってことを知ってもらえて嬉しいです。

◎亮パパ

子ども目線で見ると、いつもの仕事も違って見えてきますね。
とても楽しそうにやっていたので、私も仕事を楽しんでやれそうです。

◎奈美ママ

子どもが興味をもっていたのでどんな仕事をしているのか、見せてあげられてすごく良い機会でした。職場は子育てに対して理解があり、急な発熱や行事があっても他の人に助けてもらっています。



職場のみなさんから



◎石川専務

お子さんを連れてくることはよくありますが、蔵の中まで入ったのは初めてでした。食育という意味でも見学者が増えていますが、身近な家族に理解してもらうことは大事なことです。
子育ての楽しいことや悩みを相談しあったり、お子さんのことで急なお休みが必要になっても、対処ができるように気をつけています。職員にはモチベーションを高くもってもらい、正確に、安全に作業してもらいたいですから。仲の良い従業員同士なので、お子さんも含めた家族関係も充実してコミュニケーションを深めて欲しいですね。

◎高橋さん

とっても楽しい一日でした。私の子どもはもう成人しているので、子どもたちがかわいくてかわいくて。みんな家ではパパやママしているんだなあ、と思いました。がんばっているなー、と思うと応援したくなりますね！